

科目名	生活行為向上リハビリテーション論	担当教員	三浦正樹 金谷匡敏 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	2単位	講義

科目概要	私たちの生活は、日常生活における身の周りの動作が滞りなくできるだけだけでなく、人にとって「意味のある、したい作業」を日々の生活の中で続け、その行為から満足感や充実感を得ることで、健康で充実した生活を送ることができている。しかし、加齢や病気による心身機能の低下により、これまでできていた生活行為が困難になる等、生活をする上で様々な作業の作り直しが求められる。本講義では、生活意欲を高めるもととなる「意味のある、したい生活行為」を再び行えるようにする生活行為向上のための支援あり方、評価ツールの使用方法、支援の提案の仕方を学習する。
学習目標	①生活行為向上マネジメント開発の背景と概要について理解する ②生活行為向上マネジメントツールについて理解し、実践できるようになる

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	生活行為向上マネジメントの背景と概要	オリエンテーション 生活行為向上マネジメント開発の背景と概要	生活行為向上マネジメントの開発背景と概要を理解する。	
2	生活行為向上マネジメントの面接技法	生活行為目標を引き出す面接技法について	クライアントにインテークする際の技法について講義と演習を通して学び、体験する	
3	生活行為向上マネジメントにおけるアセスメント	アセスメントシートの作り方について	生活行為アセスメントシートの作成を講義と演習を通して学ぶ。	
4	生活行為向上マネジメントの目標設定と工程分析	合意目標の設定方法について 生活行為工程分析について	アセスメント結果から具体的な目標を立案することが出来る。目標となる生活行為について工程分析を行う事が出来る様になる。	
5	生活行為向上マネジメントのプログラム立案	プログラムの立案について	工程分析を踏まえて、多職種を交えた包括的なプログラムを立案できる。	
6	生活行為向上マネジメントのPDCAサイクル	生活行為向上マネジメントのPDCAサイクルとツール使用方法のまとめ	これまで検討したプランの発表や質疑を通して、インテークからプログラム立案、次の課題や取り組みに向けての流れを理解する。	
7	生活行為向上マネジメントの有用性と活用例	生活行為向上マネジメントの有用性と活用例	生活行為向上マネジメントの活用例やその効果について理解することができる。	
8	各論	精神障害領域におけるマネジメントシートによる目標把握 関連要素の把握	生活行為目標把握の方法を理解 生活行為関連要素を理解	
9	各論	精神障害領域におけるマネジメントシートによる生活行為向上プランの立案	生活行為向上プラン立案方法の理解	
10	各論	精神障害領域での実践例	精神障害領域での実践を理解	
11	各論	精神障害領域での実践例	精神障害領域での実践を理解	
12	各論	精神障害領域での実践例を用いたグループディスカッション	実践例に基づき事例検討できる	
13	各論	精神障害領域での実践例を用いたグループディスカッション	実践例に基づき事例検討できる	

14	各論	精神障害領域での実践例を用いたプレゼンテーション	事例検討した内容をまとめ、発表できる	
15	各論	精神障害領域での実践例を用いたプレゼンテーション	事例検討した内容をまとめ、発表できる	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		配布資料		
参考図書		日本作業療法士協会著『“作業”の捉え方と評価・支援技術—生活行為の自律に向けたマネジメント』医歯薬出版、2011年 日本作業療法士協会編・著『事例で学ぶ生活行為向上マネジメント』医歯薬出版、2015年		
学習の準備		なし		
オフィスアワー		講義の前後		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				